

A99

特許的観点を用いた新たな発明発想（化学分野）

中 級

化学分野におけるアイデア着眼ポイント
特許性を考慮した発明とはどのようなものか？

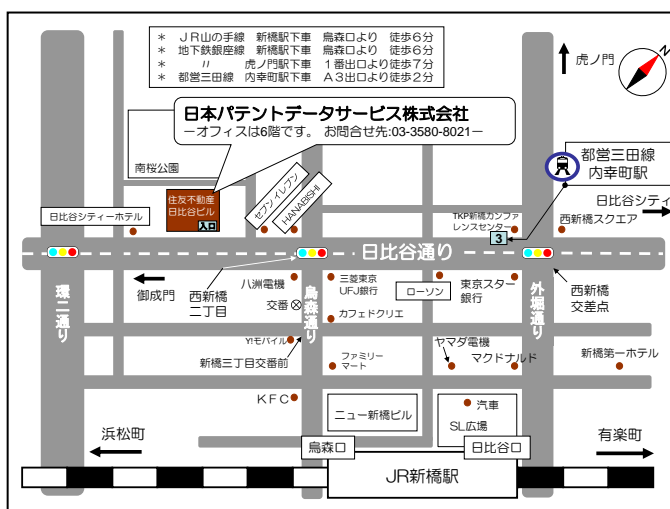
実習あり

良い発明が生まれたと思って特許出願したけれど、「進歩性」等の特許要件をクリアできず、特許を取得することができなかったことはありませんか？

化学分野において、より確実に特許を取得するには、研究開発段階から「進歩性」を考慮した製品開発を行うことが大変重要となります。

本講座では、化学系特許の特殊性と特許要件の中でも特に「進歩性」の考え方を理解し、どのようにして研究開発でのアイデア着眼に活かしていくかのノウハウをお伝えします。

【化学系の研究開発担当者、知財担当者向け】



講 師：弁理士 松山 裕一郎
アステック特許事務所 所長、
元 日本メクトロン(株) (NOKグループ)、
首都大学東京 神奈川大学 非常勤講師

場 所：日本パテントデータサービス(株) セミナ室
東京都港区西新橋2-8-6
住友不動産日比谷ビル6F
TEL:03(3580)8021 FAX:03(5512)7810

時 間：1日間コース (10:00~16:00)
受講料：20,000円 (税別)
定 員：24名 (先着順申し込み)
日 程：2018年2月6日 (火)

【申込締切】 セミナー開催日の3営業日前までとさせていただきます。

【申込方法】 FAXまたはeメールでお受けいたします。FAX：03(5512)7810 メール：chizai-semi@jpdps.co.jp

(受講票をメールまたはFAXにてお送り致します。5営業日以内に届かない節はご一報ください。)

【キャンセル】 セミナー開催日前10日以降にキャンセルされた場合には、受講料を請求させていただきます。

但し、講師の都合などで急遽開催が見送られた場合には受領済みの受講料を返却させていただきます。

お申込日 年 月 日

「特許的観点を用いた新たな発明発想（化学分野）」申込書

日本パテントデータサービス株式会社 知財研修部 行 (FAX：03-5512-7810)

会社名				部課名		
住 所 〒						
TEL				FAX		
参加希望日：	<input type="checkbox"/> 2018年2月6日					
受講者氏名		所属		知財経験	<input type="checkbox"/> 有(年) <input type="checkbox"/> 無	
E-mail						
受講者氏名		所属		知財経験	<input type="checkbox"/> 有(年) <input type="checkbox"/> 無	
E-mail						
支払方法	<input type="checkbox"/> 単独請求書・銀行振込 <input type="checkbox"/> 当日現金 <input type="checkbox"/> 合算請求(お取引コード：)					

備考： ※弁理士の方は弁理士(登録)番号をご記載ください。(本研修は、日本弁理士会の継続研修としての認定を申請中です。本研修を受講し、所定の申請をすると、外部機関研修として単位が認められる場合があります。)

【セミナースケジュール】 特許的観点を用いた新たな発明発想（化学分野）

10:00	講師ご紹介
10:05	1. 化学分野の発明の特殊性 2. 特許要件概説 3. 新規な発明とは？ 4. 進歩性の理解のツボ
11:45	昼休憩
12:45	5. 基本発明を軸とした、進歩性の考え方 6. 進歩性の規定から新規な発明を考えるコツと実験計画
14:20	休憩
14:30	7. 演習 ～基本発明を見て、進歩性のある発明を考える～ （新たな構成要件の立案とそれにより生じる効果との関係のとらえ方、及び実験計画の立て方を考えていただきます） 【演習テーマ（予定、出席者の業種により変更の可能性あり）】 A) セメント構造物 B) 光触媒 C) 食品 D) 化粧品
15:40	質疑応答
16:00	終了

【備考】

- ・ セミナーご参加の方で事前にご質問や特に説明をお聞きになりたい内容がございましたらお申出下さい。可能な限りお答えさせていただきます。
- ・ 演習テーマは変更になる場合もございますのでご了承ください。